

在宅看護学実習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分/単位数	実習/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

訪問看護ステーション、地域包括支援センターの業務に参加し、訪問看護や包括支援センター業務の実際を体験し、在宅療養者に対する看護の機能、役割を理解する。具体的には、訪問看護ステーションの事例に対応する看護職に同行し、居宅における看護を学修するとともに、地域で療養者を支援するための医療機関、薬局、福祉サービスの実際の活動を見学し、訪問看護の役割を学ぶ。そして、地域包括ケアシステムをマネジメントしている地域包括支援センターの役割を理解する。

・教育成果(アウトカム)

訪問看護ステーションでの在宅看護の実際を体験することにより、地域で生活する人々への看護方法を考えることができる。さらに地域包括支援センターの活動を体験することにより地域のケア体制を理解し、関係機関との連携および看護の役割を説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 地域看護に必要な知識・態度を身につける。
2. 対象者及び家族を地域の生活者としてとらえることができる。
3. 訪問看護による支援方法を考えることができる。
4. 地域における関係機関の連携を理解し、看護の役割を認識できる。

・実習日程

日程	各グループの実習期間は実習要項等に記載する。
担当教員	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤原 弥生 助教 赤井 純子 助教 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
授業内容/到達目標	【授業内容】訪問看護ステーション実習 ・訪問看護の見学、実践 ・受け持ち事例の看護過程の展開 ・退院前カンファレンス、サービス担当者会議、グループホーム等への健康管理支援の見学 地域包括支援センター実習 ・家庭訪問や相談の見学 ・介護予防事業、多職種連携会議等の見学 ・社会資源マップの作成を通じた地域特性の理解 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:60分/日】事前学修ワークシートとして、在宅看護にかかわる法令・制度、訪問看護の仕組み、地域包括支援センターの機能と役割、地域包括ケアシステムについてまとめる。実習地域の社会資源マップの作成に取り組む。 【事後学修:90分/日】訪問看護ステーション実習時は在宅看護過程の展開、地域包括支援センター実習時は地域包括ケアシステムや地域における健康課題等について学び、それぞれの記録用紙に記載する。

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア 第7版	臺有桂	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 第2版	臺有桂	メディカ出版	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤	河原佳代子	医学書院	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践	河原佳代子	医学書院	2022
参	地域・在宅看護実習ハンドブック	尾崎章子	中央法規出版	2021
参	看護学テキストNICE 地域・在宅看護論 I 総論 改訂第3版	石垣和子	南江堂	2024
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版	渡辺裕子	日本看護協会出版会	2022
参	関連図で理解する在宅看護過程第2版	正野逸子・本田彰子	メヂカルフレンド社	2021

・成績評価方法

【総括的評価】在宅看護学実習評価表に基づき評価する。なお「実習への取り組み状況」の評価は、実習機関からの評価も参考にする。(在宅看護学実習要項参照)

【形成的評価】実習巡回時の面談や記録物により学修成果を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

個人面接を実施し、実習記録は評価後に返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師(別表1):臨地実習 公衆衛生看護学実習 個人・家族・集団・組織の支援実習

看護師(別表3):臨地実習 統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			